



移住サポートデスク



令和6年消防出初め式



井田地区を対象とした防災ワークショップ



きほう健康びらぎ

や井田川等の河川整備につ  
きましても、さらに取り組  
みを進めてまいります。

**全**

ての町民のみなさまが  
住み慣れた地域で豊か  
な生活を続けられるよう、保  
健・医療・福祉が一体となっ  
た複合施設「きほう健康びら  
ぎ」を令和6年11月に開設い  
たしました。

本施設では、保健師や訪  
問看護師が常駐し、「町立訪  
問看護ステーション」、「地  
域医療研修センター」、「総  
合健康相談窓口」等を備え、  
子どもから高齢者までの全  
世代の健康に寄り添う、健  
康づくりの拠点施設である  
とともに、「個別相談室」や  
「休憩スペース」、「移住定住  
相談窓口」も備え、利用す  
る方にとって多目的に、そ  
して気軽に安心して過ごし  
ていただける施設となるよ  
う努めてまいります。

また、本施設での保健師活  
動の新たな取り組みといた  
しまして、「健康パトロール  
事業」を開始いたしました。  
町内の商業施設や事業所、

であり、タイムライン防災  
が日本の文化となるよう引  
き続き邁進してまいります。

消防団につきましては、  
引き続き、車両更新計画に  
基づき更新を行い、団員の  
みなさまが安全に消防活動  
に従事できる環境を整え、  
消火力の強化を図ってまい  
ります。

引き続き、あらゆる災害か  
ら町民のみなさまの命を守る  
ことを最優先に、町民のみな  
さまと一体となり、災害に強  
いまちづくり・ひとづくりを  
構築してまいります。

**地**

方創生につきました  
は、第2次紀宝町総合  
計画「後期基本計画」、第2  
期紀宝町まち・ひと・しごと  
創生総合戦略におきまして、  
「子育て支援」および「移住・  
定住の促進」を引き続き主要  
な施策として位置づけ、積極  
的に取り組みを行っている  
ところであります。

こうした取り組みの結果、  
令和5年の転入者が転出者  
を上回ることができ、平成  
18年1月の町村合併以降初

町民のみなさまが集まる活  
動場所等へ保健師が定期的  
な巡回を行うことで、町民  
の健康ニーズを多角的かつ  
速やかに把握し、誰一人取  
り残さない「全ての町民の  
みなさま」を対象とした健  
康づくりを推進してまいり  
ます。

**防**

災・減災対策につき  
ましては、「人の命が  
一番」を基本に、あらゆる  
災害において犠牲者をださ  
ないため、ソフトとハード  
両面の対策をさらに強化し  
てまいります。

南海トラフ地震・津波被  
害から犠牲者ゼロを目指す  
ため、ソフト対策としてま  
して、特に津波による被害が  
大きいと想定される鶴殿地  
区、井田地区におきまして、  
これまで官民一体でそれぞ  
れ4回のワークショップを  
実施する中で、「家族と私の  
命を守る地震・津波タイム  
ライン」が完成しました。  
引き続き、地震・津波に対  
する防災意識のさらなる浸  
透と充実を推進するととも

めて社会増が実現し、着実  
に成果が現れてきたところ  
であります。

今後も継続的に取り組み  
を行うとともに、地域内外に  
「子育てしやすい町・住みや  
すい町」を広く情報発信を  
行い、「紀宝町」を移住先お  
よび定住先として選んでい  
ただけるまちづくりを推進  
してまいります。

**子**

育て支援につきました  
ては、安心して子ども  
を産み育てられる環境整備  
を図るため、ワンストップ  
で相談支援を行う「子育て  
世代包括支援センター」の  
機能を継続し、一人ひとりの  
実情に応じた産前産後の  
ケアプランを提供するほか、  
不妊に悩む家族への支援、産  
婦健康診査、産後ケア事業  
など各種支援事業を実施し、  
妊産婦に寄り添ったきめ細  
かい支援を推進してまいり  
ます。また、子育て支援セ  
ンター、ファミリーサポー  
トセンター、学童保育等が  
利用しやすい体制の整備に  
努め、子育て家庭への支援

に、浸水が想定される成川  
地区におきましても同様に、  
タイムラインの構築を図っ  
てまいります。

また、ハード対策としま  
しては、鶴殿・井田地区に  
おいて、津波避難タワーの  
建設を進めていくとともに、  
鶴殿・井田・成川地区の主  
要避難路に、夜間停電時に  
おきましても安全で迅速な  
避難を確保するために蓄電  
池式避難誘導灯を引き続き  
整備してまいります。

タイムライン防災に取り  
組む全国の市区町村や、専  
門家、国などの防災機関が  
参画・協働し、「タイムライ  
ン防災・全国ネットワーク  
国民会議」が令和4年に発  
足し、2年が経過いたしま  
した。現在50の市区町村で、  
タイムライン防災の取り組  
みについて共有を進め、より  
多くの市区町村や地域住民  
に広げていくことで災害か  
ら命を守る防災意識社会の  
構築を目指すとともに、タ  
イムライン防災の一層の浸  
透と充実に向け、様々な取  
り組みを進めているところ

体制を引き続き充実させて  
まいります。

また、本町における子ど  
も・子育て支援にかかる総  
合的な計画として「第3次  
紀宝町子ども・子育て支援  
事業計画」の策定作業を進  
めており、子育て支援施策  
のさらなる充実に取り組ん  
でまいります。

**保**

育所環境の充実につ  
きましては、令和6年に



子育て支援センターでのクリスマス会